

資料と公共性 : 2018年度研究成果年次報告書

岡崎, 敦

九州大学大学院人文科学研究院 | 九州大学大学院統合新領域学府 : 教授

市澤, 哲

神戸大学大学院人文科学研究科 : 教授

石田, 栄美

九州大学附属図書館 | 九州大学大学院統合新領域学府 : 准教授

後小路, 雅弘

九州大学大学院人文科学研究院 : 教授

他

<https://doi.org/10.15017/2230688>

出版情報 : 2019-03-14. 九州大学大学院人文科学研究院

バージョン :

権利関係 :

目次

目次.....	I
0. 「資料と公共性」共同研究の趣旨と活動目標.....	1
1. キックオフ研究会.....	7
岡崎 敦「資料と公共性 ―なにが問題か―」.....	8
市澤 哲「公共のなかの人文／公共性をつくりだす人文」.....	23
石田栄美「大学におけるオープンデータ推進に関する課題」.....	26
後小路雅弘「「とはすかたり ―文学部の肖像―」展ができるまで」.....	30
2. シンポジウム「オープンデータと大学」.....	33
岡崎 敦「オープンデータと大学 ―問題の射程―」.....	35
中村 覚「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業における オープンデータに関する取り組み」.....	41
南山泰之「研究データ管理の動向及びデータ利活用に向けた課題整理」.....	46
畑埜晃平「くずし字のオープンデータとその活用」.....	54
林 豊「オープンデータにおける「責任」と「無責任」」.....	57
清原和之「シンポジウム「オープンデータと大学」へのコメント ―アーカイブズ学の視点から―」.....	60
3. 研究会「学校資料」.....	65
村野正景「文化遺産／情報資源の公共的管理／活用の新たなあり方に関する提案 ―学校資料と学校―」.....	66
岡崎 敦「「学校資料」の射程」.....	70

4. 個別論考

中島康比古「資料と公共性、それを支えるコトとヒト」 73

清原和之「アーカイブズ学と公共歴史学に関する研究動向

—「アーカイブ」とその「活用」を問い直す— 84

執筆者紹介